

20 食肉生産流通多角化対策

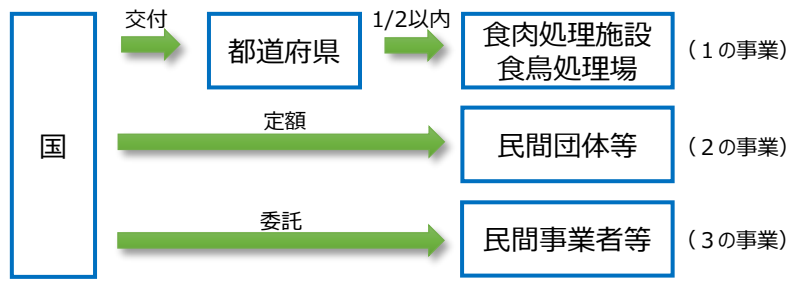
【令和4年度予算概算決定額 438（1,000）百万円】

＜対策のポイント＞
食肉の生産・流通の多角化のために必要な食肉処理施設及び食鳥処理場における精肉等加工施設・設備及び加工食品製造施設・設備の整備、輸出先国の需要・嗜好性調査、パイロット輸出等の取組を支援するとともに国内外の食肉需給の将来的な見通しを調査します。

＜政策目標＞
農林水産物・食品の輸出額の拡大（2兆円〔2025年まで〕、5兆円〔2030年まで〕）

- ＜事業の内容＞
- 1. 食肉生産流通多角化施設整備支援事業 350（900）百万円
食肉処理施設及び食鳥処理場における精肉等加工施設・設備及び加工食品製造施設・設備の整備を支援します。
 - 2. 食肉輸出品目拡大支援事業 80（100）百万円
輸出に取り組む事業者による輸出先国におけるスライス肉や小分け真空パック等、従来の部分肉以外の製品の需要・嗜好性調査、パイロット輸出、試食会の開催等の取組を支援します。
 - 3. 食肉需給構造分析調査委託事業 8（－）百万円
我が国畜産物の輸出拡大等を見据えた、将来的な国内及び世界の食肉需給構造の調査・分析を実施します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

食肉生産流通多角化施設整備支援事業

と畜・と鳥・部分肉加工

支援対象

精肉等加工施設・設備

加工食品製造施設・設備

食肉処理施設・食鳥処理場

加工度の高い製品の製造により、スーパーへの販売や消費者への直販が可能になります。

販路の多角化

食肉輸出品目拡大支援事業

①海外需要・嗜好性調査 ②パイロット輸出 ③バイヤー・消費者向け試食会

スライス肉等の需要や嗜好性の調査を支援します。

①の調査を踏まえて、試験的輸出を支援します。

現地のバイヤーや消費者向けの試食会等を支援します。

食肉流通の多角化と輸出を拡大

【お問い合わせ先】 畜産局食肉鶏卵課（03-3502-5989）